

★情報通信マネジメント研究会 (ICM)

専門委員長 木下和彦 副委員長 佐藤陽一・大石晴夫

幹事 瀬戸三郎・中山裕貴 幹事補佐 内海哲哉

日時 3月18日(木) 9:00~17:30

19日(金) 9:00~18:00

会場 オンライン開催

議題 エレメント管理, 管理機能, 理論・運用方法論, 及び一般

18日午前 ICM1 (9:00~10:15)

1. APIアダプタテストコード自動生成方式の提案 ○金丸 翔・佐々木幸次・高橋謙輔・豊嶋剛司 (NTT)
2. [奨励講演] 探索型システム設計方式を用いた ICT システムの製品評価環境自動構築技術
○田辺和輝・黒田貴之・里田浩三 (NEC)
3. NW 機器設定のナビゲーション方式の提案—設定ポイントリストと設定手順書を利用した NE 機器設定方法について—
○中西弘毅・横瀬史拓・大石晴夫・柴田朋子 (NTT)

招待講演 (10:30~12:30)

4. [招待講演] 「量子技術イノベーション戦略」について 登内敏夫 (理研)
5. [招待講演] COVID-19 感染者推移と医療リソース予測のための待ち行列シミュレーション
○三好 匠・山崎 託 (芝浦工大)・山本 嶺 (電通大)・谷田部智之 (三菱総研)
6. [招待講演] TM Forum の最新動向—IoT/5G 時代の Autonomous Network 検討動向について—
住田一樹 (NTT コムウェア)

18日午後 ワークショップ (13:30~17:30)

◎2021 年情報通信マネジメント (ICM) ワークショップ (第二種研究会)

テーマ: with コロナ時代の情報通信マネジメント戦略

19日午前 ICM2 (9:00~10:40)

1. [奨励講演] 通信キャリアにおけるネットワーク故障対応業務自動化に向けたオーケストレータの実装と評価
○須藤侑一・佐藤亮介・石塚祐一郎・坂田浩亮・萩原宜和・古川 毅 (NTT)
2. [奨励講演] タイムアウトを考慮しサービスリソース活用を効率化する API 優先制御の一検討
○白井嵩士・斎藤清隆 (NTT)
3. ネットワーク障害箇所推定ルールの自動生成方法に関する評価
○浅井文香・山本憲男・金井俊介・野末晴久・田山健一 (NTT)
4. 位置依存形 P2P プラットフォームにおける車両向け統合サービス実現手法とその評価
○杉山 健・三好 匠・山崎 託・シルバーストン トーマス (芝浦工大)

ICM3 (10:50~12:30)

5. 逐次蓄積型学習ベース異常検知における学習データの効用
○深澤那月・吉田直樹・阿多信吾・岡 育生 (阪市大)
6. Web サービスにおける応答時間に着目した異常検知の高精度化に関する提案
○熊野達夫・大川尚義・藤田裕志 (富士通研)・吉川拓哉 (サイボウズ)・上野 仁 (富士通研)
7. 時系列データを用いた仮想基盤の障害原因把握のためのフルスタック可視化の提案
○鈴木和宏・野口泰生・田村雅寿 (富士通研)
8. 仮想化基盤の稼働状況と運用ログに基づく異常原因判定方式の提案
○樋口淳一・児玉武司 (富士通研)・徐 広勝 (富士通九州ネットワークテクノロジーズ)・上野 仁 (富士通研)

19日午後 ICM4 (13:30~15:10)

9. 位置情報によるセンサデータの信頼性確認方法の検討 ○水野 潤・柴田幸祐 (日立)
10. 多人数情報共有ゲームに対する複数 MEC サーバの利用が与える影響の検討 ○橘 拓至・澤田知貴 (福井大)
11. フロー情報による通信セッションの相関検出方式の検討 古谷信司 (三菱電機)
12. ベイジアンネットワークによる AI 出力の誤り検証方式の提案
○佐藤亮介・中村瑞人・高田 篤・関 登志彦・山越恭子 (NTT)

ICM5 (15:20~16:35)

13. OSS を活用した運用影響を抑制するコンテナ構成方法及び機能追加方法の検討 ○斎藤清隆・白井嵩士 (NTT)
14. [奨励講演] リレーショナルデータベースとグラフデータベースのリアルタイム同期方式の提案
○杉本昌司・小林淳司・大野木健太・江口秀晃 (NTT コムウェア)
15. ネットワーク情報共有基盤 KANVAS におけるネットワーク情報収集・蓄積機構の設計と実装
○口井敢太・近藤賢郎・永山裕人・寺岡文男 (慶大)

ICM6 (16:45~18:00)

16. 人員資源割当時におけるヒトの意図反映手法の確立に向けた数理モデルの再検証と評価

○高津 諭・吉田 寛・坂本昌史・柴田朋子 (NTT)

17. 災害時における地点の重要度を考慮した配送計画アルゴリズムの提案

○小川まな美・金井俊介・田山健一 (NTT)

18. 複数車両による配送計画問題に対する強化学習を活用した探索手法の検討

○明石和陽・小川まな美・金井俊介・中野雄介・王 釗 (NTT)

☆ICM 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

5月13日(木), 14日(金) JA 長野県ビル [未定] テーマ: サービス管理, 運用管理技術, セキュリティ管理,
一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい.

<https://www.ieice.org/ken/program/index.php>

【問合せ先】

ICM 研究会幹事

E-mail : icm-kanji@mail.ieice.org

◎<http://www.ieice.org/~icm/jpn/>